



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月2日

上場会社名 立川ブラインド工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7989 URL https://www.blind.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)立川 光威
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)小野 寿也 (TEL) 03(5484)6142
 四半期報告書提出予定日 2021年11月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	30,038	0.4	3,278	△8.6	3,340	△7.7	2,024	△12.3
2020年12月期第3四半期	29,906	△4.9	3,585	3.0	3,618	3.1	2,309	4.9

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 2,477百万円 (13.7%) 2020年12月期第3四半期 2,178百万円 (△9.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	104.04	—
2020年12月期第3四半期	118.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	58,488	46,299	71.4
2020年12月期	57,779	44,432	69.2

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 41,746百万円 2020年12月期 39,963百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	10.00	—	19.00	29.00
2021年12月期	—	10.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	20.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,040	5.2	4,800	5.8	4,850	5.1	3,050	5.2	156.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年12月期3Q	20,763,600株	2020年12月期	20,763,600株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	1,306,808株	2020年12月期	1,306,325株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年12月期3Q	19,457,080株	2020年12月期3Q	19,457,649株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の再発出や、まん延防止等重点措置の適用等により社会経済活動が制限され、厳しい状況が続きました。9月末には緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置が解除され、またワクチン接種の進行により景気回復への期待が高まっていますが、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループ関連の建設・住宅業界は、短期的にはコロナ禍での住宅着工戸数減少の反動により持ち直しの動きが見られますが、ウッドショックによる資材不足や原材料価格の高騰等、事業環境の先行きは不透明な状況であり、また長期的には世帯数の減少や住宅の長寿化等により新設住宅着工戸数が年々減少傾向にある等、厳しい環境となっております。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、生活様式や働き方が大きく変化する中、多様化するニーズに応じた、より安心・安全で快適な住空間づくりを目指し、顧客満足度の高い製品の開発および新製品の市場浸透を促進するとともに、当社主力製品のひとつであるロールスクリーン『ラルクシールド』や、タテ型ブラインド『ラインドレープ』の大幅なリニューアルを行い、心地よい快適な暮らしを提案してまいりました。

また、駐車場装置関連事業においては、くし歯式の強みを活かした営業展開により新規開拓に取り組むとともに、既設物件に対する計画的な改修提案や付加価値提案を推進し、製造・施工コストの管理体制強化を進めることにより、受注・収益の獲得に努めてまいりました。

減速機関連事業においては、顧客ニーズに応えた個別製品の開発による提案営業を進め、新規顧客獲得に注力するとともに、生産体制の改善等による収益獲得に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は30,038百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益は3,278百万円（前年同期比8.6%減）、経常利益は3,340百万円（前年同期比7.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,024百万円（前年同期比12.3%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

[室内外装品関連事業]

主力製品のひとつであるロールスクリーン『ラルクシールド』や、住宅向けタテ型ブラインド『ラインドレープ』においては、ライフスタイルで選べる多彩なデザイン生地のラインナップへ刷新したほか、窓の大開口化に対応した製作可能寸法へ拡大する等、大幅なリニューアルを行いました。また、オフィスや店舗などの大きな窓にも対応する非住宅向けタテ型ブラインド『バーチカルブラインド』ではスラットラインナップをリニューアルし、遮熱・抗菌・抗ウイルス加工スラットや水拭きできるスラットを拡充させ、機能性やメンテナンス性の向上を図りました。更に、ヨコ型ブラインドではスラット（羽根）の反射光による不快な眩しさや日射熱を抑えることで、オフィスや住宅などで「省エネ」と「快適」を両立する「グロスレス遮熱スラット」を新たにラインナップしました。

加えて、スマートスピーカーやスマートフォンでの操作も可能にした住宅向け電動製品『スマートインテリアシェード ホームタコス』や、スリムでスタイリッシュなデザインと機能性が人気の間仕切『プレイス スウィング』など、昨年発売した付加価値の高い製品の市場浸透に注力しました。

しかしながら、売上高は25,244百万円（前年同期比0.5%減）となり、営業利益につきましては、継続的なコスト低減活動等に努めましたが、販売費および一般管理費が増加し、2,930百万円（前年同期比12.7%減）となりました。

[駐車場装置関連事業]

新築工事において、工事日程が当第3四半期へ変更となった物件の工事が進捗したことにより、売上高は2,242百万円（前年同期比8.1%増）となりました。営業利益につきましては、製造・施工コストの管理体制強化など継続的な原価低減活動に努めたことにより、177百万円（前年同期比60.3%増）となりました。

[減速機関連事業]

工作機械の受注回復の兆しが見える中、無人搬送台車駆動用減速機など、当社が得意とする個別製品の受注が堅調に推移したことにより、売上高は2,551百万円（前年同期比3.1%増）となりました。営業利益につきましては、売上高の増加や高付加価値製品の構成増加等により169百万円（前年同期比45.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は58,488百万円で、前連結会計年度末と比較し709百万円の増加となりました。

(資産)

流動資産は38,579百万円で、前連結会計年度末と比較し688百万円の減少となりました。これは主に、棚卸資産が増加した一方で、現金及び預金や受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。

固定資産は19,909百万円で、前連結会計年度末と比較し1,398百万円の増加となりました。これは主に、有形固定資産の取得による増加や、株価上昇により投資有価証券が増加したことによるものであります。

(負債)

負債は12,189百万円で、前連結会計年度末と比較し1,157百万円の減少となりました。これは主に、賞与引当金が増加した一方で、未払金や未払法人税等、退職給付に係る負債が減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は46,299百万円で、前連結会計年度末と比較し1,867百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により増加したことや、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は71.4%と、前連結会計年度末と比較し、2.2ポイントの増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきまして、国内景気は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の進行や各種政策により次第に回復に向かうことが期待されますが、一方で変異株感染拡大の懸念や原材料価格の高騰等、事業環境を取り巻く状況は先行きが不透明です。

このような環境の下、室内外装品関連事業におきましては、生活様式や働き方が大きく変化している中、多様化するニーズに応じた製品の開発や、環境の変化に応じた営業活動を展開し、製品の提供に取り組むとともに、リフォーム需要や海外市場の獲得強化、非住宅市場での拡販に取り組み、さらなる売上拡大・収益確保に努めてまいります。駐車場装置関連事業では、業界トップレベルの入出庫スピードや省エネ性、耐震性を誇る当社の「くし歯技術」を活かした付加価値開発を行い、積極的な提案活動を展開するとともに、既設物件に対する改造改修提案を推進し顧客満足度の向上に努めてまいります。減速機関連事業では、当社の保有技術を活かした製品の差別化戦略により物流・工場自動化設備等の成長分野においてシェア拡大を図ってまいります。

これらを踏まえ、2021年12月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点において2021年2月5日に公表しました予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,517,552	18,375,588
受取手形及び売掛金	14,516,220	13,537,504
商品及び製品	814,573	754,178
仕掛品	1,432,716	1,461,412
未成工事支出金	134,226	255,434
原材料及び貯蔵品	3,582,843	3,883,821
その他	313,884	357,373
貸倒引当金	△43,589	△45,800
流動資産合計	39,268,428	38,579,511
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,493,131	14,275,100
減価償却累計額	△9,667,593	△9,790,733
建物及び構築物(純額)	3,825,537	4,484,367
土地	7,444,602	7,482,531
その他	16,125,123	16,703,048
減価償却累計額	△13,955,445	△14,196,769
その他(純額)	2,169,677	2,506,279
有形固定資産合計	13,439,817	14,473,178
無形固定資産	491,377	481,528
投資その他の資産		
投資有価証券	1,951,354	2,346,665
退職給付に係る資産	358,044	356,919
その他	2,386,784	2,367,735
貸倒引当金	△116,553	△116,734
投資その他の資産合計	4,579,629	4,954,585
固定資産合計	18,510,824	19,909,292
資産合計	57,779,253	58,488,803

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,941,753	6,148,705
未払金	1,240,168	690,786
未払法人税等	854,533	438,311
賞与引当金	215,843	643,254
役員賞与引当金	61,050	48,413
製品保証引当金	14,094	18,847
その他	1,534,548	1,661,037
流動負債合計	9,861,992	9,649,355
固定負債		
役員退職慰労引当金	359,525	364,123
退職給付に係る負債	2,984,324	2,050,217
その他	141,116	125,807
固定負債合計	3,484,965	2,540,147
負債合計	13,346,958	12,189,503
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,395,060	4,395,060
利益剰余金	31,701,118	33,161,145
自己株式	△671,776	△672,423
株主資本合計	39,899,402	41,358,783
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	161,566	421,378
繰延ヘッジ損益	△1,262	2,062
為替換算調整勘定	28,014	47,191
退職給付に係る調整累計額	△123,998	△82,481
その他の包括利益累計額合計	64,320	388,152
非支配株主持分	4,468,571	4,552,364
純資産合計	44,432,295	46,299,300
負債純資産合計	57,779,253	58,488,803

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)
売上高	29,906,704	30,038,704
売上原価	16,724,866	16,832,347
売上総利益	13,181,838	13,206,357
販売費及び一般管理費	9,596,665	9,928,278
営業利益	3,585,172	3,278,079
営業外収益		
受取利息	923	844
受取配当金	39,414	40,498
不動産賃貸料	26,899	26,801
受取保険金	25,375	698
為替差益	-	19,571
その他	29,464	45,903
営業外収益合計	122,076	134,317
営業外費用		
支払利息	3	3
売上割引	61,314	63,196
為替差損	3,628	-
災害による損失	9,306	-
その他	14,902	8,820
営業外費用合計	89,154	72,021
経常利益	3,618,095	3,340,375
特別利益		
固定資産売却益	1,149	252
投資有価証券売却益	-	17,568
特別利益合計	1,149	17,821
特別損失		
固定資産除売却損	5,389	160,080
投資有価証券評価損	110,753	-
特別損失合計	116,143	160,080
税金等調整前四半期純利益	3,503,101	3,198,115
法人税、住民税及び事業税	1,124,621	1,141,263
法人税等調整額	38,022	△75,555
法人税等合計	1,162,643	1,065,708
四半期純利益	2,340,457	2,132,407
非支配株主に帰属する四半期純利益	30,951	108,120
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,309,506	2,024,286

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	2,340,457	2,132,407
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△209,526	279,183
繰延ヘッジ損益	△543	3,324
為替換算調整勘定	△1,250	19,177
退職給付に係る調整額	49,380	42,971
その他の包括利益合計	△161,940	344,656
四半期包括利益	2,178,517	2,477,063
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,125,932	2,348,117
非支配株主に係る四半期包括利益	52,585	128,945

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(退職給付信託の設定)

当社は、第1四半期連結会計期間において、将来の退職給付に備えることを目的として、退職給付信託を設定し、現金及び預金10億円を拠出いたしました。これにより、退職給付に係る負債が同額減少しております。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	25,358,522	2,073,629	2,474,552	29,906,704	—	29,906,704
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	37,871	37,871	△37,871	—
計	25,358,522	2,073,629	2,512,423	29,944,576	△37,871	29,906,704
セグメント利益	3,357,980	110,906	116,285	3,585,172	—	3,585,172

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	25,244,326	2,242,461	2,551,915	30,038,704	—	30,038,704
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	77,810	77,810	△77,810	—
計	25,244,326	2,242,461	2,629,726	30,116,514	△77,810	30,038,704
セグメント利益	2,930,663	177,827	169,588	3,278,079	—	3,278,079

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。